

総合科学教育研究センター教員個人業績

凡 例

以下は、秋田県立大学総合科学教育研究センター所属教員の2014年1月1日から2014年12月31日までに公表あるいは実施された主な業績を示すものである。業績の分類は、以下の5つのカテゴリに従った。

- I 著書・学術論文等
- II 学会報告等
- III 社会活動・受賞等
- IV 講演・公開講座等
- V その他の活動

高橋 秀晴 教授

I 著書・学術論文等

*学術論文等

- 1) 高橋秀晴「望嶽楼の夢―滝田栲陰と近代文学者―」『秋田魁新報』（秋田魁新報社）2014年4月5日～2015年7月25日、土曜文化欄連載全68回（単著）
- 2) 高橋秀晴「伊藤永之介と〈戦中〉・〈戦後〉の農村社会」『上越教育大学国語研究』（上越教育大学国語教育学会）2015年2月21日、第29号、1～9ページ（単著）
- 3) 高橋秀晴「〈資料〉の変幻―仏越和平交渉下の小牧近江と小松清をめぐって―」『近代文学資料研究』（近代文学資料研究会）2015年3月30日、第1号、68～76ページ（単著）
- 4) 高橋秀晴「金子洋文と同時代評」『秋田風土文学』（秋田風土文学会）2015年3月31日、第15号、6～13ページ（単著）

*講演録

- 1) 高橋秀晴「「流るゝまゝに」―山田順子という生き方―」『研究紀要』（秋田県高等学校教育研究会国語部会）2015年3月、第51号、40～45ページ（単著）

II 学会報告等

*学会報告

- 1) 高橋秀晴「滝田栲陰と秋田」秋田風土文学会、2015年2月7日（於：あきた文学資料館）

III 社会活動・受賞等

*社会活動

- 1) 秋田県立秋田南高等学校学校評議員、2005年4月～
- 2) 秋田県高等学校教育研究会国語部会顧問、2006年7月～
- 3) あきた文学資料館収集検討委員、2007年4月～
- 4) 秋田県脳血管研究センター医薬品受託研究審査会委員、2007年11月～
- 5) 私大・短大魅力アップ支援事業審査委員会委員、2010年6月～2015年3月
- 6) 秋田県芸術選奨選考委員、2013年3月～2015年2月
- 7) 秋田市公文書管理委員会委員、2013年5月～
- 8) 秋田県青少年健全育成審議会副会長・部会長、2014年4月～
- 9) A B S秋田放送番組審議会委員長、2014年7月～
- 10) 読書推進活動委員会運営委員、2014年7月～2015年3月
- 11) 秋田県文化財保護審議会委員、2014年9月～
- 12) 秋田市立佐竹資料館寄贈および寄託事前審査会委員、2014年10月～
- 13) 秋田県立秋田高等学校同窓会常任理事
- 14) 私大・短大パワーアップ支援事業審査委員会委員、2015年4月～
- 15) 大学評価・学位授与機構大学機関別認証評価委員会専門委員、2015年5月1日～2016年4月30日

*学会活動

- 1) 日本近代文学会東北支部運営委員、1995年5月～

- 2) 日本社会文学会評議員、2007年7月～
- 3) 地域文化研究会 AKITA 事務局長、2009年4月～
- 4) 『東北近代文学事典』編集委員、2009年10月～
- 5) 日本社会文学会理事、2011年6月～
- 6) 日本近代文学会東北支部長、2014年7月～
- 7) 日本近代文学会評議員、2014年7月～
- 8) 秋田風土文学会会長、2015年2月～
- 9) 秋田風土文学会合評会・臨時総会運営、2015年5月23日
- 10) 日本社会文学会創立30周年記念論集編集委員、2015年6月13日～
- 11) 日本近代文学会東北支部夏季大会運営、2015年7月4日
- 12) 秋田風土文学会文学踏査運営、2015年8月29～30日
- 13) 日本近代文学会東北支部冬季大会運営、2015年12月23日

IV 講演・公開講座等

* 講演・公開講座

- 1) 美の国アクティブカレッジ特別講座「滝田栲陰と芥川龍之介」2015年2月14日（於：秋田県生涯学習センター）
- 2) 第50回秋田県多喜二祭記念講演「世界の中の多喜二、多喜二の中の秋田」2015年2月21日（於：秋田県生涯学習センター）
- 3) 第36回大館市小林多喜二記念の集い「世界の中の多喜二、多喜二の中の秋田」2015年2月22日（於：大館市中央公民館）
- 4) 日本文学同好会「石川達三の文学と秋田」2015年4月12日（於：あきた文学資料館）
- 5) あきた文学資料館文学講座「褪せぬ記憶—高井有一にとっての「北の河」—」2015年7月7日（於：あきた文学資料館）
- 6) 教員免許状更新講習「秋田の近代文学」2015年7月27日（於：秋田県立大学）
- 7) 「小中国語教育を考える—中学・高校・高専・大学からの動点観測—」2015年7月29日（於：サンワーク男鹿）
- 8) 秋田市女性学習センター近代文学講座「矢田津世子とふるさと秋田」2015年9月3日（於：サンパル秋田）
- 9) 秋田市女性学習センター近代文学講座「矢田津世子とふるさと秋田（移動学習）」2015年9月10日（於：五城館）
- 10) 秋田おもと高齢者大学「プロレタリア文学と秋田」2015年10月13日（於：サンパル秋田）

V その他の活動

* 助成研究

- 1) 平成27年度科学研究費補助金（基盤研究（C））「新資料による金子洋文研究」（課題番号24520221）研究代表者
- 2) 大学コンソーシアムあきた平成27年度学際的研究プロジェクト「秋田県の活性化のための調査研究」

共同研究者

* 報告書等

1) 「新資料による金子洋文研究」(科学研究費補助金報告書) 2015年 5 月 (単著)

* 新聞・雑誌掲載等

1) 「没後10年の松田解子」『現代女性文化研究所ニュース』(現代女性文化研究所) 2015年 2 月 6 日、第40号、10～11ページ (単著)

2) 「世界に繋がる研究テーマに／県多喜二祭・記念の集いに寄せて」『秋田魁新報』2015年 2 月19日 (単著)

3) 「サイレントマイノリティ」『館報』2015年 5 月15日、7 ページ (単著)

4) 「支部活動私感」『日本近代文学会東北支部会報』2015年 5 月29日、第50号、1～2 ページ (単著)

* 記事・取材協力等

1) 「夢追い人」『みちのく春秋』(本の館／亜礼母禮) 2015年 1 月10日、第15号、7 ページ

2) 「小林多喜二、野呂榮太郎など／1～2 月全国各地の顕彰活動」『不屈』2015年 1 月15日、No.487、8 ページ

3) 「北海道・秋田県の各地で／多喜二しのぶ集い」『赤旗』2015年 2 月14日

4) 「50回目の県多喜二祭／あす「今、思いを学びたい」」『朝日新聞』2015年 2 月20日

5) 「県多喜二祭、50回の節目／秋田市／思想、文学へ理解深める」『秋田魁新報』2015年 2 月22日

6) 「多喜二の精神継承誓う／秋田で顕彰祭／市民がレクイエム合唱」『河北新報』2015年 2 月22日

7) 「「甚兵衛一」を合評／秋田放送番組審議会」『秋田魁新報』2015年 2 月27日

8) 「「NNN ドキュメント'15…」を合評／秋田放送番組審議会」『秋田魁新報』2015年 3 月28日

9) 「「甲子園に笑顔…」を合評／秋田放送番組審議会」『秋田魁新報』2015年 4 月24日

10) 「「秋田ゆかりの芥川賞作家」文学講座」『朝日新聞』2015年 5 月22日

11) 「「秋田美人を売り込め」を合評／秋田放送番組審議会」『秋田魁新報』2015年 5 月27日

12) 「秘密のケンミン SHOW」日本テレビ2015年 6 月 4 日

13) 「「笑顔を打ち上げろ」を合評／秋田放送番組審議会」『秋田魁新報』2015年 6 月30日

14) 「「六魂祭」中継番組を合評／秋田放送番組審議会」『秋田魁新報』2015年 7 月29日

15) 「女性学習センターの教室／作家・矢田津世子とふるさと秋田」『広報あきた』2015年 8 月 7 日、No.1846、19ページ

16) 「秋田市で「将来設計ガイダンス」高1生、大学の特色学ぶ／24校70人教授らと意見交換」『秋田魁新報』、2015年 8 月10日

17) 「杉／名編集者」『秋田魁新報』、2015年 8 月14日

18) 「「戦争の記憶、つなぐ」を合評／秋田放送番組審議会」『秋田魁新報』2015年 9 月30日

19) 「「蔵町ぶらり。」を合評／秋田放送番組審議会」『秋田魁新報』2015年10月23日

* 被書評・引用・言及等

1) 参考文献「ふるさと愛 秋田再紀行」『あきたタウン情報』2015年 7 月号、92ページ

2) 「研究・関連資料／高橋秀晴「没後10年の松田解子」『現代女性文化研究所ニュース』No.40二月刊」『松田解子の会』『会報』(松田解子の会) 2015年 8 月24日、第22号、11ページ

渡部 諭 教授

<p>I 著書・学術論文等</p> <p>*学術論文等</p> <p>1) 渡部諭「基礎講座：老年心理学の最前線 第10回高齢者の意思決定」『老年精神医学雑誌』2015年10月、第26巻、第10号、1157-1164ページ</p> <p>2) 澁谷泰秀・渡部諭・吉村治正・小久保温・柏谷至・佐々木てる・中村和生・木原博「ウェブ調査と郵送調査の直接比較-同一サンプルを用いた回答者特性及び自己効力得点の比較-」『青森大学付属総合研究所紀要』2015年10月、Vol.17 (1)</p>
<p>II 学会報告等</p> <p>*学会報告</p> <p>1) Watanabe,S. "Taxon separation using the bootstrap"、IMPS2015, 2015年7月12日～16日（於：Beijing Normal University）.</p> <p>2) 渡部諭・澁谷泰秀「Taxon 分離による高齢者の特殊詐欺脆弱性の検討」日本心理学会第79回大会、2015年9月22日～24日（於：名古屋国際会議場）</p> <p>3) Watanabe,S., Shibutani,H., Yoshimura,H. and Kokubo,A. "Analysis of personal networks of the elderly in Japan"、The Gerontological Society of America's 68th Annual Scientific Meeting (GSA2015)、2015年11月18日～22日（於：Walt Disney World Swan and Dolphin）</p>
<p>V その他の活動</p> <p>*助成研究</p> <p>日工組社会安全財団2014年度一般研究助成研究報告書「振り込め詐欺脆弱性についての高齢者の認知特性に関する taxometric 分析」、2015年10月</p>

小松田儀貞 准教授

<p>I 著書・学術論文等</p> <p>*学術論文等</p> <p>1) 小松田儀貞「アート化する社会／社会化するアート——地域社会と文化芸術の未来——」『秋田県立大学総合科学教育研究彙報』2015年、第16号、11～23ページ（単著）</p> <p>2) 小松田儀貞「秋田県藤里町における社会的包摂型生活困難者支援の展開」『秋田県立大学ウェブジャーナル A』2015年、第2号、50～60ページ（単著）</p>
<p>II 学会報告等</p> <p>*研究会報告</p> <p>1) 小松田儀貞「避難者および避難者支援～秋田の動き」基盤研究（A）「東日本大震災と日本社会の再</p>

建——地震、津波、原発震災の被害とその克服の道」定例研究会、2015年9月15日（於：福島大学行政社会学部）

III 社会活動・受賞等

* 社会活動

- 1) エフエム秋田番組審議会委員、2008年4月～（副委員長2010年4月～）
- 2) 秋田うつくしま県人会事務局、2011年7月～
- 3) 秋田県立博物館協議会委員（副会長2013年7月～、会長2015年7月～）
- 4) 日本女性会議2016秋田実行委員会（副会長2015年5月～）

V その他の活動

* 助成研究

- 1) 2014～2017年度科学研究費（基盤研究（C））「高度化する現代医療における市民協働とシティズンシップの可能性に関する社会学的研究」（研究課題番号：15K03850）研究代表者
- 2) 2014～2016年度科学研究費（基盤研究（C））「地域コミュニティに基盤を置いた社会的包摂と包括的キャリア教育に関する研究」（研究課題番号：26381090）研究分担者
- 3) 2012～2015年度科学研究費（基盤研究（C））「エネルギーの地域自主管理システムの構築に関する環境社会学的研究」（研究課題番号：24530636）研究分担者
- 4) 2012～2015年度科学研究費（基盤研究（A））「東日本大震災と日本社会の再建——地震、津波、原発震災の被害とその克服の道」（研究課題番号：24243057）研究協力者

* コーディネーター

- 1) 第25回秋田市男女共生フォーラム「未来を見つめるトーク&トーク」2015年11月1日（日）会場：秋田拠点センター アルヴェ

内山応信 准教授

I 著書・学術論文等

* 学術論文等

- 1) 間所洋和、田中理恵、寺田祐樹、内山応信「朝食無料サービスの試みとアンケート結果から見てきた方向性—朝食摂取習慣のきっかけづくりを目指して—」『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学教育研究センター）2015年3月31日、115～128ページ（共著）
- 2) Demura T、Demura S、Uchiyama M、Kitabayashi T、Takahashi K「Effect of shoes with rounded soft soles in the anterior-posterior direction on the center of pressure during static standing.」『Foot』2015年、第25巻2号、97～100ページ（共著）

II 学会報告等

* 学会報告

- 1) 内山応信、出村慎一、他「大学生の精神的健康度は全身持久力レベルにより異なる」日本体育測定評価学会第14回大会兼測定評価研究50周年記念大会、2015年3月29日（於：石川県政記念しいのき迎賓館）
- 2) 辛紹熙、出村慎一、内山応信、他「転倒関連体力における地域間差及び性差の検討一岐阜県高齢者とソウル市高齢者を対象に」日本体育測定評価学会第14回大会兼測定評価研究50周年記念大会、2015年3月29日（於：石川県政記念しいのき迎賓館）
- 3) 高橋健司、出村慎一、内山応信、他「伸縮性テープを用いた手関節テーピングが背屈および掌屈の自動関節可動域に及ぼす影響」日本体育測定評価学会第14回大会兼測定評価研究50周年記念大会、2015年3月29日（於：石川県政記念しいのき迎賓館）
- 4) 内山応信「大学生における抑うつ症状の有無は、日常の運動実施時間、朝食摂取頻度、及びネット利用時間と関係する：横断的データによる基礎検討」第31回日本精神衛生学会大会、2015年12月5日（於：産業医科大学ラマツィーニホール）

III 社会活動・受賞等

* 社会活動

- 1) 秋田県スポーツ科学センターアスリート総合診断アドバイザー、2009年5月～
- 2) 秋田県脳血管研究センター医薬品受託研究審査委員会委員、2010年4月～
- 3) 秋田県スポーツ科学センター AKITA スーパーわか杉っ子発掘プロジェクト実行委員会委員、2011年5月～
- 4) 秋田県スポーツ科学センター成人スポーツ実施率向上事業「市町村スポーツ推進委員等に対するスポーツ活動プログラム提供」技術協力、講師、2014年10月～

* 学会活動

- 1) 日本教育医学会常任理事、2014年8月～
- 2) 日本体力医学会東北地方会幹事、2012年8月～

IV 講演・公開講座等

* 講演・公開講座

- 1) 秋田県スポーツ科学センター成人スポーツ実施率向上事業「市町村スポーツ推進委員等に対するスポーツ活動プログラムの提供」「あきた元気アップ円熟塾指導者・リーダー養成講座」講師、2015年1月27日、及び2月3日（於：秋田県スポーツ科学センター）
- 2) NPO 法人常盤ときめき隊「日曜朝市」講師、2015年6月21日、及び11月29日（於：秋田県能代市上町）
- 3) 秋田県高等教育課高校生未来創造支援事業キャリア教育総合推進事業「将来設計ガイダンス」講師、2015年8月10日（於：秋田県立大学秋田キャンパス）
- 4) 秋田県スポーツ科学センター平成27年度成人スポーツ実施率向上事業「円熟体操 in 男鹿」講師、

2015年9月28日（於：秋田県男鹿市体育館、及び男鹿市B & G海洋センター）

- 5) 秋田県スポーツ科学センター平成27年度成人スポーツ実施率向上事業「円熟体操 in 仙北」講師、
2015年10月23日（於：秋田県仙北市田沢湖デイサービスセンター）

V その他の活動

* 助成研究

- 1) 日本学術振興会科学研究費助成（挑戦的萌芽研究）、「易転倒高齢者の環境条件変化に対応するバランス適応能力とその日内変動の解明」（Research Project Number: 25560371）、2013年4月～2016年3月、研究代表者
- 2) 日本学術振興会科学研究費助成（基盤研究C）、「超高齢化農村コミュニティ再生—住民意欲醸成手法の開発」（Research Project Number: 26450331）、2014年4月～2017年3月、研究分担者

* 報告書等

- 1) 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実施状況報告書（研究実施状況報告書）（平成26年度）、「易転倒高齢者の環境条件変化に対応するバランス適応能力とその日内変動の解明」（Research Project Number: 2556031）

* 記事・取材協力等

- 1) 「円熟体操」で健康づくりを 男鹿市民70人、体力測定 県作成、プログラムの基に『秋田魁新報』2015年10月3日
- 2) 「円熟体操」で35人が健康づくり 北秋田市『北鹿新聞』2015年11月18日

* 助言等

- 1) 秋田県スポーツ科学センター平成27年度成人スポーツ実施率向上事業 あきた元気アップ円熟塾「円熟体操」プログラム、監修
- 2) AKITA SPORTS STATION 秋田県スポーツ情報ステーション「あきた元気アップ円熟塾「円熟体操」マニュアルダイジェスト版」

* 被書評・引用・言及等

- 1) 被引用：Demura T、Demura S、Uchiyama M、Sugiura H「Examination of factors affecting gait properties in healthy older adults: Focusing on knee extension strength, visual acuity, and knee joint pain」『Journal of Geriatric Physical Therapy』2014年、第37巻2号、52～57ページ
 - Clark DJ「Automaticity of walking: Functional significance, mechanisms, measurement and rehabilitation strategies」『Frontiers in Human Neuroscience』2015年、第9巻5月号、doi:10.3389/fnhum.2015.00246
 - Choi YL、Kim BK、Hwang YP、Moon OK、Choi WS「Effects of isometric exercise using biofeedback on maximum voluntary isometric contraction, pain, and muscle thickness in patients with knee osteoarthritis」『Journal of Physical Therapy Science』2015年、第27巻1号、149～153ページ
 - Woo J「Walking Speed: A Summary Indicator of Frailty?」『Journal of the American Medical Directors Association』2015年、第16巻8号、635～637

- 3) 被引用 : Miyaguchi K., Demura S, Sugiura H, Uchiyama M, Noda M 「Development of various reaction abilities and their relationships with favorite play activities in preschool children」『Source of the Document Journal of Strength and Conditioning Research』2013年、第27巻10号、2791～2799
- Fry AC, Irwin CC, Nicoll JX, Ferebee DE 「Muscular strength and power in 3- To 7-year-old children」『Pediatric Exercise Science』2015年、第27巻3号、345～354ページ
- 4) 被引用 : Uchiyama M, Demura S, Sugiura H 「The mobility performance of the elderly before, during and after crossing over an obstacle」『Human Movement』2012年、第13巻4号、297～302ページ
- Shin SS, An D-H, Yoo W-G 「Effects of balance recovery after square and semicircular turns on gait velocity and center of mass acceleration in older adults with differing visual acuity」『Source of the Document European Geriatric Medicine』2015年、第6巻2号、103～108ページ
 - Chang Y-T, Huang C-F, Chang J-H 「The Effect of Tai Chi Chuan on Obstacle Crossing Strategy in Older Adults」『Research in Sports Medicine』2015年、第23巻(3号)、315～329ページ
- 5) 被引用 : Demura S, Sato S, Shin S, Uchiyama M 「Setting the criterion for fall risk screening for healthy community-dwelling elderly」『Archives of Gerontology and Geriatrics』2012年、第54巻2号、370～373ページ
- Hirase T, Inokuchi S, Matsusaka N, Okita M 「Effectiveness of a balance-training program provided by qualified care workers for community-based older adults: A preliminary study」『Geriatric Nursing』2015年、第36巻3号、219～223ページ
- 6) 被引用 : Kitabayashi T, Demura S, Kawabata H, Uchiyama M, Demura T 「Comparison of the body-sway characteristics of young adults compared to healthy elderly and elderly with equilibrium disorder」『Perceptual and Motor Skills』2011年、第113巻2号、547～556ページ
- Annino G, Palazzo F, Lebone P, et al. 「The efficacy of plantar stimulation on human balance control」『Somatosensory and Motor Research』2015年、第32巻3号、200～205ページ
- 7) 被引用 : Demura S, Uchiyama M 「Influence of cell phone email use on characteristics of gait」『European Journal of Sport Science』2009年、第9巻5号、303～309ページ
- Strubhar AJ, Peterson ML, Aschwege J, et al. 「The effect of text messaging on reactive balance and the temporal and spatial characteristics of gait」『Gait and Posture』2015年、第42巻4号、580～583ページ
 - Agostini V, Lo Fermo F, Massazza G, Knaflitz M 「Does texting while walking really affect gait in young adults?」『Journal of NeuroEngineering and Rehabilitation』2015年、第12号1巻、86ページ
 - Licence, S, Smith R, McGuigan MP, Earnest CP 「Gait pattern alterations during walking, texting and walking and texting during cognitively distractive tasks while

- negotiating common pedestrian obstacles」『LoS ONE』2015年、第10号7巻、e0133281
- 8) 被引用：Demura S、Uchiyama M 「Influence of anaerobic and aerobic exercises on the center of pressure during an upright posture」『Journal of Exercise Science and Fitness』2009年、第7号1巻、39～47ページ
- Hill M、Pereira C、Talbot C、Oxford S、Price M 「The effects of acute arm crank ergometry and cycle ergometry on postural sway and attentional demands during quiet bipedal standing」『Experimental Brain Research』2015年、第233号6巻、1801～1809ページ
- 9) 被引用：Uchiyama M、Demura S 「The role of eye movement in upright postural control」『Sport Sciences for Health』2009年、第5巻1号、21～27ページ
- Exarchos TP、Bellos C、Bakola I、et al. 「Management and modeling of balance disorders using decision support systems: The EMBALANCE project」『Advances in Experimental Medicine and Biology』2015年、820巻、61～67ページ
 - Wu K-T、Lee G-S 「Influences of monocular and binocular vision on postural stability」『Journal of Vestibular Research: Equilibrium and Orientation』2015年、第25巻1号、15～21ページ
- 10) 被引用：Uchiyama M、Demura S 「Low visual acuity is associated with the decrease in postural sway」『Tohoku Journal of Experimental Medicine』2008年、第216号3巻、277～285ページ
- Yvon C、Najuko-Mafemera A、Kanegaonkar R 「The D+R Balance application: A novel method of assessing postural sway」『Journal of Laryngology and Otology』2015年、第129巻8号、773～778ページ
- 11) 被引用：Demura S、Yamaji S、Kitabayashi T、Yamada T、Uchiyama M 「Attention of postural control on foot somatosensor disturbance caused by the compression of blood vessels.」『Journal of human ergology』2008年、第37巻2号、91～102ページ
- Paillard T、No? F 「Techniques and Methods for Testing the Postural Function in Healthy and Pathological Subjects」『BioMed Research International』2015年、391390
- 12) 被引用：Matsuda S、Demura S、Uchiyama M 「Centre of pressure sway characteristics during static one-legged stance of athletes from different sports」『Journal of Sports Sciences』2008年、第26巻7号、775～779ページ
- Pau M、Arippa F、Leban B、et al. 「Relationship between static and dynamic balance abilities in Italian professional and youth league soccer players」『Physical Therapy in Sport』2015年、第16巻3号、236～241ページ
 - (他5ジャーナル5論文にて被引用)
- 13) 被引用：Ikemoto Y、Demura S、Yamaji S、Minami M、Nakada M、Uchiyama M 「Force-time parameters during explosive isometric grip correlate with muscle power」『Sport Sciences for Health』2007年、第2巻2号、64～70ページ
- Prata MG、Scheicher ME 「Effects of strength and balance training on the mobility, fear of falling and grip strength of elderly female fallers」『Journal of Bodywork and

Movement Therapies』2015年、第19巻4号、645～650ページ

14) 被引用：Demura S、Uchiyama M 「Proper assessment of the falling risk in the elderly by a physical mobility test with an obstacle」『Tohoku Journal of Experimental Medicine』2007年、第212巻1号、13～20ページ

• print G、Cook DJ、Weeks DL 「Toward Automating Clinical Assessments: A Survey of the Timed Up and Go」『IEEE Reviews in Biomedical Engineering』2015年、第8巻、2006736、64～77ページ

15) 被引用：Noguchi T、Demura S、Nagasawa Y、Uchiyama M 「An examination of practice and laterality effects on the purdue pegboard and moving beans with tweezers」『Perceptual and Motor Skills』2015年、第102巻1号、265～274ページ

• Jelić MB、Milanović SD、Filipović SR 「Differential effects of facilitatory and inhibitory theta burst stimulation of the primary motor cortex on motor learning」『Clinical Neurophysiology』2015年、第126巻5号、1016～1023ページ

* 学術論文査読

1) 『Human Performance Measurement』（日本体育測定評価学会）、論文（英文）査読1件

宮本 雲平 准教授

I 著書・学術論文等

* 学術論文等

1) Sotani, H. and Miyamoto, U., 「Properties of an electrically charged black hole in Eddington-inspired Born-Infeld gravity」『Physical Review D』(American Physical Society) 2015年1月5日、第90巻、12号、124087、1～10ページ (共著)

2) Sotani, H. and Miyamoto, U., 「Strong gravitational lensing by an electrically charged black hole in Eddington-inspired Born-Infeld gravity」『Physical Review D』(American Physical Society) 2015年8月27日、第92巻、4号、44052、1～10ページ (共著)

II 学会報告等

* 学会報告

1) Miyamoto, U. 「Vacuum excitation by sudden (dis-)appearance of a Dirichlet wall in a cavity」The 25th Workshop on General Relativity and Gravitation in Japan、2015年12月7～11日 (於：京都大学)

IV 講演・公開講座等

* 講演・公開講座

1) 秋田県立大学 学生・アドミッションチーム主催、本荘高校ハイレベル春期講習「数学の物理への応用 I～III」2014年3月26～27日 (於：秋田県立大学本荘キャンパス)

- 2) 秋田県立大学地域連携・研究推進センター主催、秋田県立大学部局間研究フォーラム「相対論の思想と他分野との関わり」2015年6月5日（於：由利本荘市文化交流館カダーレ）
- 3) 秋田県立大学創造工房主催、創造楽習「LaTeX でかっこいい論文を書こう：数式を自由自在に書けるようになる」2015年6月22-23日（於：秋田県立大学本荘キャンパス）
- 4) 秋田県教育委員会主催、高校生将来設計ガイダンス、学問別ガイダンス「物理学」2015年8月10日（於：秋田県立大学秋田キャンパス）
- 5) 秋田県立大学創造工房主催、創造楽習「Mathematica 入門：計算を楽しく，グラフを美しく」2015年11月26日（於：秋田県立大学本荘キャンパス）

V その他の活動

* 助成研究

- 1) 文部科学省科学研究費、基盤研究（C）「ワームホール形成における爆発的粒子生成と超伝導回路を用いたその再現実験の提案」研究代表者、1,690,000円

鈴木 祐丞 助教

I 著書・学術論文等

* 学術論文等

- 1) 鈴木祐丞「教育の理念と言語——教職課程『教育原理』に関する覚書」『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）、2015年3月31日、第16号、25-32ページ（単著）

II 学会報告等

* 学会報告

- 1) 鈴木祐丞「日記における信仰をめぐる思索のフィクション性について」キェルケゴール協会第16回学術大会、2015年7月5日（於：キャンパスプラザ京都）
- 2) 鈴木祐丞「日記を資料としたキェルケゴール研究とその展望」日本宗教学会第74回学術大会、2015年9月6日（於：創価大学）

III 社会活動・受賞等

* 学会活動

- 1) 日本キェルケゴール研究センター書記幹事、2013年1月～

IV 講演・公開講座等

* 講演・公開講座

- 1) 大学コンソーシアムあきた 高大連携授業「哲学カフェ」、2015年6月5・12・19・26日、10月9・16・23日（於：カレッジプラザ）
- 2) 平成27年度高校生未来創造支援事業 将来設計ガイダンス 学問別ガイダンス「教育学・哲学」、

2015年8月10日（於：秋田県立大学）

V その他の活動

* 助成研究

- 1) 平成27年度学長プロジェクト研究費「創造的研究」「新しい日記観にもとづく、キェルケゴール理解刷新の試み」、2015年6月10日～2016年3月31日、研究代表者

* 被書評・引用・言及等

- 1) 柳沢貴司「鈴木祐丞『キェルケゴールの信仰と哲学』ミネルヴァ書房」『図書新聞』、2015年3月14日、3199号、4ページ
- 2) 中里巧「鈴木祐丞著『キェルケゴールの信仰と哲学』」『宗教研究』（日本宗教学会）、2015年12月30日、第89巻、第3号、201-205ページ

渡部 昌平 准教授

I 著書・学術論文等

* 著書

- 1) 『社会構成主義キャリア・カウンセリングの理論と実践』（福村出版）2015年7月10日（編著）

* 学術論文等

- 1) 渡部昌平・渡部諭・小池孝範「キャリア形成における自己理解・仕事理解・啓発的経験の構造および啓発的経験の理解内容による効果の違いに関する探索的研究」『教育カウンセリング研究』（日本教育カウンセリング学会）2015年1月10日、第6巻第1号、35～40ページ（共著）
- 2) 渡部昌平「キャリアの形成と時間的展望との関係に関する探索的研究」『産業カウンセリング研究』（日本産業カウンセリング学会）2015年3月31日、Vol.16No.1、27～31ページ（単著）
- 3) 渡部昌平「カードソート技法を用いたキャリア相談」『キャリア教育研究』（日本キャリア教育学会）2015年3月31日、第33巻第2号、67～70ページ（単著）
- 4) 渡部昌平・小池孝範「道徳教育におけるキャリア教育の可能性—「私たちの道徳」公開を踏まえて—」『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2015年3月31日、第16号、33～42ページ（共著）
- 5) 渡部昌平・渡部諭・小池孝範「キャリア教育の効果測定のための自己理解尺度の作成について」『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2015年3月31日、第16号、45～52ページ（共著）

* Proceeding

- 1) 渡部昌平「高等学校のキャリア教育の目指す方向性とは」『職業研究』（一般社団法人雇用問題研究会）2015春期号、4～5ページ（単著）
- 2) 渡部昌平「リメディアル教育とキャリア・カウンセリングの接点—やる気と積極性をどう引き出すか」『リメディアル教育研究』第10巻第1号、38～39ページ（単著）

II 学会報告等

*学会報告

- 1) 渡部昌平「中学校キャリア教育の課題に関する探索的研究－生徒と教員の評価のちがいをからみる課題－」日本発達心理学会第26回大会、2015年3月21日（於：東京大学）
- 2) 渡部昌平「社会構成主義キャリア・カウンセリングの効果と課題～時間展望の変化にみる事例検討」東北心理学会第69回大会、2015年6月6日（於：東北文化学園大学）
- 3) 渡部昌平「コミュニケーション教育による自信の変化の検討」リメディアル教育学会第11回全国大会、2015年8月29日（於：北星学園大学）
- 4) 菅原良、渡部昌平、勝又あずさ、手嶋哲子、神崎秀嗣「理系学部学生における大学間学生交流活動の阻害要因に関する探索的研究」第10回パーソナルコンピュータ利用技術学会全国大会、2015年9月1日（於：くにびきメッセ）
- 5) 菅原良、渡部昌平、勝又あずさ、手嶋哲子、神崎秀嗣「大学間学生交流活動の阻害要因測定尺度の開発と評価－管理栄養士養成課程との比較において－」日本キャリアデザイン学会第12回研究大会、2015年9月5日（於：北海学園大学）
- 6) 渡部昌平「ライフキャリアテーマの視点から自己PRを「引き出す」～大学生に対する社会構成主義キャリア・カウンセリング事例の検討」日本産業カウンセリング学会第20回大会、2015年9月6日（於：日本体育大学世田谷キャンパス）
- 7) Shohei WATANABE "Which qualitative assessment is used for which client? - Study on objection of qualitative carrier assessment" IAEVG 国際キャリア教育学会・日本キャリア教育学会第37回大会、2015年9月19日（於：つくば国際会議場）
- 8) Shohei WATANABE, Masumi KAGAYA "Can Hard-Working Students of the Past be Role Models for Students of Today? - Study on the Career Selection Models - "IAEVG 国際キャリア教育学会・日本キャリア教育学会第37回大会、2015年9月21日（於：つくば国際会議場）
- 9) 渡部昌平「積極性、目標指向性を高めるキャリア教育実践～社会構成主義を用いた、経験の掘り起こし・新規提供」日本教育カウンセリング学会第13回研究発表大会、2015年11月22日（於：早稲田大学）

*ワークショップ・シンポジウム

- 1) 渡部昌平「産業カウンセラーがかかわるキャリア教育とは」産業カウンセリング全国研究大会 第4分科会、2015年5月31日（於：沖縄コンベンションセンター）
- 2) 渡部昌平・松本桂樹・廣川進・高橋浩「はじめての社会構成主義キャリア・カウンセリング」日本産業カウンセリング学会第20回大会 自主シンポジウム、2015年9月5日（於：日本体育大学世田谷キャンパス）
- 3) 渡部昌平・杉山雅宏・佐藤さゆり「子どもの「語り」を教育に生かす」日本教育カウンセリング学会第13回研究発表大会 自主シンポジウム、2015年11月22日（於：早稲田大学）

*学会報告座長

- 1) IAEVG 国際キャリア教育学会・日本キャリア教育学会第37回大会 セッション2-6（アセスメント、査定、評価）、2015年9月19日（於：つくば国際会議場）
- 2) 日本教育カウンセリング学会第13回研究発表大会 事例研究発表E分科会（キャリア支援）、2015年

11月22日（於：早稲田大学）

III 社会活動・受賞等

* 社会活動

- 1) 秋田県地域訓練協議会会長、2012年6月～
- 2) 秋田県ジョブ・カード運営本部会議委員、2012年11月～
- 3) (独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会会長、2015年4月～

* 受賞等

- 1) 日本教育カウンセリング学会 サイエнтиスト・プラクティショナー賞、2015年11月22日

* 学会活動

- 1) 日本産業カウンセリング学会 理事（2014年9月～）
- 2) 日本キャリア教育学会 資格認定委員会委員（2015年4月～）
- 3) 日本教育カウンセラー協会秋田支部 事務局次長（2015年10月～）
- 4) 日本産業カウンセリング学会 学術論文査読

IV 講演・公開講座等

* 講演・公開講座

- 1) 日本産業カウンセラー協会秋田支部研修会「短期療法について」、2015年3月15日（於：ジョイナス）
- 2) 中学校新任進路指導主事研修講座「中学校におけるキャリア教育」、2015年6月4日（於：秋田県総合教育センター）
- 3) ふくしまの未来を拓く「強い人材」づくり共同教育プログラムキャリア講演会「若者のやる気・役割意識を高める／地元企業を売り込む」、2015年6月15日（於：福島大学）
- 4) 生涯学習・社会教育関係者実践講座「学ぶ・行動する人を支援する生涯学習・社会教育関係者のための『コミュニケーション能力』『ファシリテーション技術』向上講座」、2015年6月18日（於：秋田県生涯学習センター）
- 5) 日本キャリア教育学会キャリアカウンセラー養成研修基礎講座「社会構成主義キャリア・カウンセリングで「未来を構築する」」2015年6月20日（於：コラッセふくしま）
- 6) きらり支援学校研修講座「未来をつくるキャリア教育～未来から逆算して今をとらえる」、2015年7月23日（於：秋田県立秋田きらり支援学校）
- 7) 高大連携授業「自分の心を理解して、未来を考える」、2015年7月31日（於：カレッジプラザ）
- 8) 教員免許状更新講習「キャリア教育と日常の接続～自己理解と協力・学びの必要性の理解」、2015年8月10日（於：秋田県立大学）
- 9) 教員免許状更新講習「キャリア教育と日常の接続～自己理解と協力・学びの必要性の理解」、2015年9月13日（於：秋田県立大学）
- 10) 秋田大学クラソリ研「はじめての社会構成主義キャリア・カウンセリング」、2015年10月12日（於：秋田大学 臨床心理相談室）
- 11) 小学校キャリア教育推進研修講座「小学校だからこそキャリア教育」、2015年10月22日（於：秋田県総合教育センター）

- 12) 仙北市立仙北中学校職業講話「中1のあなたへ～「未来」「働くこと」と学校生活とのつながり：あなたの未来を考えよう!」、2015年11月18日（於：秋田県立大学）

V その他の活動

* 助成研究

- 1) 平成25年度科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（C）「小中高大を貫く効果的な「仕事理解」の内容・方法の具体化に関する研究」（課題番号25381267）、2013年4月～2016年3月、研究代表者

* 報告書等

- 1) 平成26年度大学コンソーシアムあきた 学際的プロジェクト研究「県内学生のコミュニケーションの特徴、苦手意識及びその克服に関する調査研究大学間交流の阻害要因について」報告書

* その他

- 1) きらり支援学校自主公開事前授業研究会 中学部数学科 指導助言、2015年11月10日（於：秋田県立秋田きらり支援学校）
2) きらり支援学校自主公開研究協議会 中学部数学科 指導助言、2015年12月3日（於：秋田県立秋田きらり支援学校）

高階 悟 教授

I 著書・学術論文等

* 学術論文等

- 1) 高階悟「グアム大学夏期語学研修と秋田県立大学のグローバル化への取り組み」『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2015年3月31日、第16号、85～90ページ（単著）
2) 高階悟「『エリジウム』」（映画評）『東北アメリカ文学研究』2015年3月31日、第38号、128-131

II 学会報告等

* 学会報告

- 1) 高階悟「日米の戦争記憶の溝：太平洋の島々」日本アメリカ文学会東北支部12月例会、2015年12月19日（於：東北大学）

III 社会活動・受賞等

* 社会活動

- 1) 秋田県 TOEIC 推進協議会 副委員長（2008年4月～2016年3月）

* 学会活動

- 1) 日本リメディアル教育学会 理事（2013年9月～2015年9月）
2) 日本アメリカ文学会東北支部 会計監査（2012年4月～2016年3月）

- 3) 東北英語教育学会 理事 (2006年4月～2016年3月)
- 4) 秋田英語英文学会 運営委員 (2006年4月～)

IV 講演・公開講座等

* 講演・公開講座

- 1) 大学高校連携授業「コンピュータを使っの英語の授業」(秋田西高校生15名、金足農業高校3名)、2015年7月19日(於:秋田県立大学)

高橋 守 教授

I 著書・学術論文等

* 学術論文等

- 1) Mamoru Takahashi & Stephen Shucart 「Using Moodle Forum discussion to motivate extensive reading」、『秋田県立大学総合科学研究彙報』(秋田県立大学総合科学教育研究センター) 2015年3月31日、第16号、91-97ページ(共著)
- 2) Mamoru Takahashi & Stephen Shucart 「Plot-driven Novels vs. Character-driven Novels」、『東北アメリカ文学研究』(日本アメリカ文学会東北支部) 2015年3月31日、第38号、75-85ページ(共著)

II 学会報告等

* 学会報告

- 1) Mamoru Takahashi & Stephen Shucart、「Teaching personal storytelling in the classrooms」全国語学教育学会(JALT)分野別研究部会2015年次大会、2015年5月16日(於:神戸市立大学)
- 2) Mamoru Takahashi & Stephen Shucart、「Plot-driven vs. Character-driven Novels III」日本アメリカ文学会東北支部6月例会、2015年6月13日(於:東北大学)
- 3) Mamoru Takahashi、「Plot-driven versus character-driven stories in graded readers」全国語学教育学会 多読研究専門部会2015年度年次大会、2015年6月21日(於:西南学院大学)
- 4) Mamoru Takahashi、「Communicating with students by using Forum Module」日本 Moodle 協会 Moodle Summer Workshop in Hokkaido、2015年7月19日(於:室蘭工業大学)
- 5) Stephen Shucart & Mamoru Takahashi、「Plot-driven Versus Character-driven Stories」全国語学教育学会第41回年次国際大会、2015年11月21日(於:静岡県コンベンションアーツセンター/グランシップ)

III 社会活動・受賞等

* 学会活動

- 1) 全国語学教育学会秋田支部役員(支部長兼プログラム担当役員2013年10月～2015年10月、会計担当役員2015年10月～)

2) 日本モデル協会 第8回日本モデルムート投稿論文査読委員、2015年11月

IV 講演・公開講座等

* 講演・公開講座

- 1) 平成27年度高校生未来創造支援事業 将来設計ガイダンス 研究室訪問 I 担当者、2015年8月11日 (於：秋田県立大学)
- 2) 大学高校連携授業講師「高校生英語セミナー」、2015年9月7日、9月28日、10月5日 (於：秋田県立大学)

V その他の活動

* 報告

- 1) 全国語学教育学会『The Language Teacher』「秋田支部報告」、2015年第39巻 第1号、第4号

檜山 晋 教授

I 著書・学術論文等

* 学術論文等

- 1) Hiyama, Susumu. 「Element Order in *The Blickling Homilies*: Part VI」『秋田県立大学総合科学研究彙報』(秋田県立大学総合科学教育研究センター) 2015年3月31日、第16号、51~60ページ (単著)

V その他の活動

* 講演・公開講座

- 1) 大学高校連携授業「由利高等学校・秋田県立大学英語連携授業」、2015年5月11日、5月18日、5月25日 (於：秋田県立大学本荘キャンパス)
- 2) 「学問別ガイダンス (英語学・言語学)」、2015年8月10日 (於：秋田県立大学秋田キャンパス)

岡崎 弘信 教授

I 著書・学術論文等

* 学術論文等

- 1) Fukuda E, Hashimoto S, Okazaki H 「(Feature Article) Reading and summarizing in L1 and L2 using a social networking website」『OnCue Journal 8(2)』(JALT College and University Educators SIG) 2015年12月、83~105ページ (共著)

* Proceeding

- 1) Hashimoto S, Fukuda E, Okazaki H 「Improving summarizing skills with TED talks: an account of a teaching lesson using explicit instruction」『2015EuroCALL Proceedings』(Research-publishing.net) 2015年12月、228～234ページ (共著)
- 2) 岩崎彰典、木戸和彦、橋本信一、福田衣里、鈴木光子、岡崎弘信 「成績データの主成分分析をオンデマンドで行うシステムの開発」『日本教育情報学会年会講演論文集 (31)』2015年 8月、302～303ページ (共著)

II 学会報告等

* 学会報告

- 1) Fukuda E, Hashimoto S, Okazaki H 「Rejuvenating grammar instruction through narrative music videos」The 21st ATEM National Conference、2015年 8月 7日 (於: Kyoto Women's University)
- 2) Nitta H, Klinger W, Okazaki H 「Aviation English and Listening Problems at High Rates of Speech」FLEAT6、2015年 8月11～15日 (於: Harvard University, USA)
- 3) Fukuda E, Hashimoto S, Nitta H, Okazaki H 「Online reading and writing activities assisted by Moodle」FLEAT6、2015年 8月11～15日 (於: Harvard University, USA)
- 4) Hashimoto S, Fukuda E, Okazaki H 「Improving summarizing skills with TED talks」Euro CALL 2015、2015年 8月26～29日 (於: The University of Padova, Italy)
- 5) 岡崎弘信、木戸和彦、橋本信一、福田衣里、鈴木光子、江原智子「意図的語彙学習と偶発的語彙学習双方を促進する e-ラーニングプログラムの開発」外国語教育メディア学会第55回全国研究大会、2015年 8月 4～6日 (於: 千里ライフサイエンスセンター)
- 6) 岡崎弘信、新田晴彦、木戸和彦、橋本信一、福田衣里「オリジナル学習支援プログラム「映画英語リスニング・システム」のさらなる進化のために」映画英語教育学会第21回全国研究大会、2015年 8月 7日 (於: 京都女子大学)
- 7) 岩崎彰典、木戸和彦、橋本信一、福田衣里、鈴木光子、岡崎弘信 「成績データの主成分分析をオンデマンドで行うシステムの開発」日本教育情報学会第31回年会、2015年 8月29～30日 (於: 茨城大学)

III 社会活動・受賞等

* 社会活動

- 1) 秋田県芸術文化振興基金補助金審査委員、2015年 4月～
- 2) TDK 由利本荘(株) 英語アドバイザー、2011年 6月～
- 3) 由利高等学校27年度第 2 学年「課題研究」発表会講評者、2015年11月20日 (於: 文化交流館カダレー)

* 学会活動

- 1) 映画英語教育学会東日本支部委員、2013年11月～

IV 講演・公開講座等

* 講演・公開講座

- 1) 由利高等学校・秋田県立大学英語連携授業、2015年10月26日、11月16日、11月30日（於：秋田県立大学本荘キャンパス）

V その他の活動

* 助成研究

- 1) 日本学術振興会科学研究費（基盤研究（B））、「テラーメイド型教育カルテの構築と学習最適化の研究」（研究課題番号25282061）、2013年4月～2017年3月、研究代表者
- 2) 日本学術振興会科学研究費（挑戦的萌芽研究）、「工学的手法を用いた英語リスニング教材における難易度自動判定の研究」（研究課題番号15K12420）、2015年4月～2018年3月、研究代表者
- 3) 日本学術振興会科学研究費（基盤研究（C））、「重大インシデント回避のための航空管制英語の研究」、2013年4月～2016年3月、研究分担者
- 4) 平成27年度秋田県立大学学長プロジェクト（創造的研究）「Intercultural Awareness and Sustainability: Establishing Interdisciplinary Study Abroad Programs」、2015年4月～2016年3月、研究分担者

* 特許出願

- 1) 名称「学習支援置」（特願2015-115346）（第2発明者） 2015年6月

* 学術論文査読

- 1) Language Education & Technology Vol.52（1本）
- 2) ATEM Journal vol.20（1本）

Terri L. Nagahashi 教授

I 著書・学術論文等

* 学術論文等

- 1) Nagahashi, T. L. 「Overseas Study Tour Report 2014 "English Adventure Program"」『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2015年3月31日、第15号、99～113ページ（単著）
- 2) Nagahashi, T. L. 「2014 Akita Prefectural University Overseas Study Tour University of Guam's English Adventure Program」『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学 International Exchange センター）2015年3月、1～38ページ
- 3) 今西弘幸、テリーリーナガハシ、酒井徹、林英俊、津田渉、越高孝子、伊藤祐子、佐々木義春「2014年度の五城目町におけるキイチゴの産地展開に関する経営実証研究」『秋田県立大学ウェブジャーナル B』2015年3月、Vol.1, 1～5ページ

III 社会活動・受賞等

* 社会活動

- 1) 鳥海高原菜の花まつりボランティア、2015年5月30日、5月31日（於：由利本荘市矢島町城内字桃野）
- 2) 英検2級試験監督、2015年6月7日（於：秋田県立大学秋田キャンパス）
- 3) 財団法人中島記念国際交流財団助成による留学生地域交流事業「秋田の農家民泊一体験から持続的交流へー」ボランティアリーダー、2015年10月3日4日、11月3日
- 4) あきたキイチゴ利活用研究会研究員、2008年～（於：秋田県、五城目町）
- 5) 秋田県立秋田北鷹高等学校 スーパーサイエンスハイスクール・アドバイザー 2014年～

IV 講演・公開講座等

* 講演・公開講座

- 1) 平成27年度秋田県立大学高大連携授業（Assistant Director）「秋田県立大学に隣接する高校生等によるコンピュータを使っての英語学習について」、2015年7月19日（於：秋田県立大学）
- 2) 平成27年度あきたキイチゴ利活用研究会講演「Utility of raspberry juice in holiday home cooking」2015年12月5日（於：秋田県、五城目町）
- 3) 秋田県立秋田中央高等学校（スーパーサイエンスハイスクール）「Introduction to Sustainability」2015年12月20日（於：秋田中央高等学校）
- 4) グアムスタディスター アドバイザー、2015

スティーヴン・シュカート 准教授

I 著書・学術論文等

* 学術論文等

- 1) Mamoru Takahashi & Stephen Shucart 「Using Moodle Forum discussion to motivate extensive reading」、『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2015年3月31日、第16号、91-97ページ（共著）
- 2) Mamoru Takahashi & Stephen Shucart 「Plot-driven Novels vs. Character-driven Novels」、『東北アメリカ文学研究』（日本アメリカ文学会東北支部）2015年3月31日、第38号、75-85ページ（共著）

II 学会報告等

* 学会報告

- 1) Mamoru Takahashi & Stephen Shucart、「Teaching personal storytelling in the classrooms」全国語学教育学会（JALT）分野別研究部会2015年次大会、2015年5月16日（於：神戸市立大学）
- 2) Mamoru Takahashi & Stephen Shucart、「Plot-driven vs. Character-driven Novels III」日本アメリカ文学会東北支部6月例会、2015年6月13日（於：東北大学）

- 3) Stephen Shucart & Mamoru Takahashi、「Plot-driven Versus Character-driven Stories」全国語学教育学会第41回年次国際大会、2015年11月21日（於：静岡県コンベンションアーツセンター／グランシップ）

III 社会活動・受賞等

* 学会活動

- 1) 全国語学教育学会秋田支部役員（広報担当役員）、1999年6月～
- 2) 全国語学教育学会 CALL-SIG「CALL-EJ」査読委員

IV 講演・公開講座等

* 講演・公開講座

- 1) 大学高校連携授業講師「高校生英語セミナー」、2015年6月1日、6月22日、7月6日（於：秋田県立大学）

V その他の活動

* 報告

- 1) 全国語学教育学会『The Language Teacher』「秋田支部報告」、2015年 第39巻 第4号

加賀谷真澄 助教

I 著書・学術論文等

* 学術論文等

- 1) 加賀谷真澄「海を渡った若者たちーラトガス大学の日本人留学生」『近代文学資料研究』（近代文学資料研究の会）2015年3月30日、第1号、3～19ページ（単著）。
- 2) 加賀谷真澄「明治の移民論ー横山源之助、片山潜、幸徳秋水を比較して」『秋田県立大学総合科学教育研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2015年3月31日、第16号、61～69ページ（単著）。

II 学会報告等

* 学会報告

- 1) 加賀谷真澄「東海岸へのあこがれと現実とー苦学生の表象」（シンポジウム「親日と反米」パネリスト）日本比較文学会東北大会、2015年7月25日（於：仙台市民会館）
- 2) Shohei Watanabe, Masumi Kagaya「Can hard -Working Students of the Past be Role Models for Students of Today?」IAEVG International Conference 2015, 2015年9月21日（於：Congress Center, Tsukuba）

III 社会活動・受賞等

* 社会活動

- 1) 日本比較文学会東北支部役員、2013年6月～
- 2) 秋田県立秋田高等学校同窓会150年史編集準備委員、2014年8月～
- 3) 秋田県観光文化スポーツ部主催「あきたの文芸」小説・評論部門選考委員、2015年4月～
- 4) 秋田県男女共同参画審議会委員、2015年10月～

IV 講演・公開講座等

* 講演・公開講座

- 1) 大学高校連携授業「コンピュータを使っての英語の授業」(秋田西高校15名、金足農業高校3名)、2015年7月19日(於:秋田県立大学)
- 2) 秋田県教育委員会主催「高校生将来設計ガイダンス」、学問別ガイダンス「比較文学、英米文学」担当、2015年8月10日(於:秋田県立大学)
- 3) 模擬授業(秋田西高校、文系授業担当)、2015年10月14日(於:秋田県立大学)

V その他の活動

* 助成研究

- 1) 日本学術振興会科学研究費(挑戦的萌芽研究)、「米国における苦学生の実態的研究—明治期から大正期にかけて」(研究課題番号15K12859)、2015年4月1日～2018年3月31日、研究代表者

* 選評

加賀谷真澄「何に焦点を当てるか」『あきたの文芸』(秋田県)2015年10月23日、第48集、95～96ページ

白山 雅彦 教授

III 社会活動・受賞等

* 社会活動

- 1) 一般財団法人秋田県高等学校定時制通信制教育振興会理事、2013年4月～
- 2) NPO法人あきた・まなVIVA!創造塾理事、2013年4月～
- 3) 財団法人理数教育研究所「第5回リケジョ(理系女子)をめざそうin秋田」実行委員、2015年11月15日、於:秋田県立横手清陵学院高等学校

IV 講演・公開講座等

* 講演・公開講座

- 1) 秋田県総合教育センター10年経験者研修講座(幼保、小中高、特支教諭等対象)「学校の危機管理」、2015年6月25日(於:秋田県総合教育センター)
- 2) 潟上市第11回社会を明るくする運動推進大会(市及び市教委職員、保護司、民生委員、警察官等対象)「地域社会の絆をはぐくむ 学校・家庭・地域の在り方について」、2015年7月1日(於:潟上市役所庁舎)